

2025年 第11週（3月10日～3月16日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 インフルエンザについて
- 2 新型コロナウイルス感染症について
- 3 管内の感染症発生状況（上記2疾患以外のもの）
- 4 県内の感染症発生状況（麻疹）

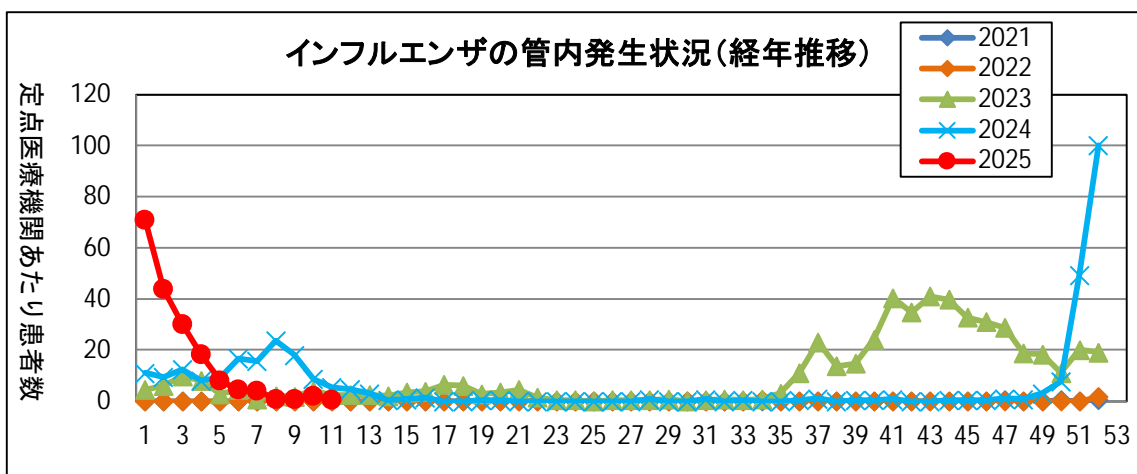
1 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週0.33人で、先週（2.00人）から減少し、兵庫県内の定点あたり患者数は今週2.38人で、先週（1.88人）から増加しました。

直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者1,794人の年齢分布では、5～9歳が40%、10～14歳が24%で、15歳未満が全体の81%を占めています。

また、県内の学校等において、今週30件（先週28件）の臨時休業が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

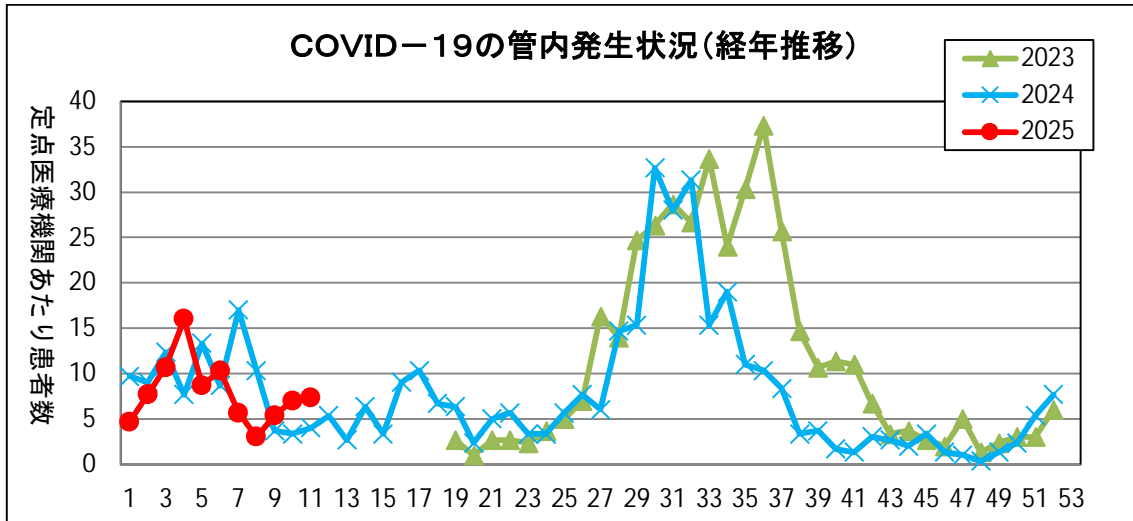
[インフルエンザ](#)

2 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週7.33人（先週7.00人）で先週から増加し、兵庫県内の定点あたり報告数は今週2.52人（先週2.70人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が8.00人と最も多く、当所管内7.33人、赤穂保健所管内5.50人となっており、年齢別では、10歳代が15%と最も多く、次いで50歳代及び80歳以上が12%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週4件（先週9件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注）2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス（COVID-19）関連情報ページ](#)

3 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第11週は、梅毒が1件報告されました。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（2025年11週）※定当：定点当たり患者数

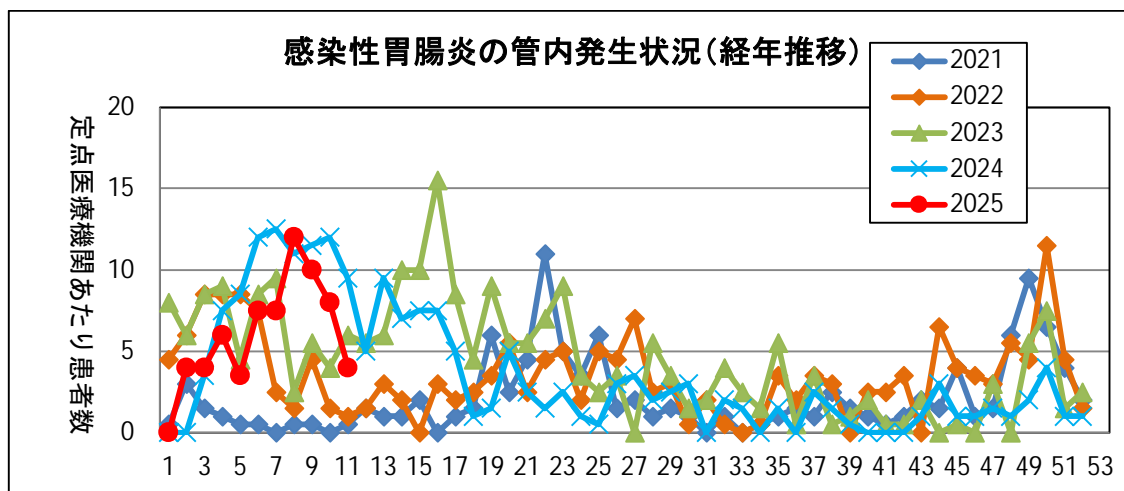
インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.33	-	-	-	-	3	1.5	8	4	-	-	-	-	-	-	1	0.5	22	7.33

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ノロウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が4.00人で、先週（8.00人）から減少し、兵庫県でも12.50人で、先週（13.98人）から減少しました。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週8件（先週6件）の集団発生が報告されています。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物进行处理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

4 県内の感染症発生状況（麻しん）

県内において今週1人（宝塚保健所管内）の麻しんの報告がありました。麻しんウイルスは極めて感染力が強く、約10～12日の潜伏期間を経て発症します。麻しんが疑われる場合は外出を控え、医療機関に事前に連絡してから受診してください。感染予防対策として、麻しん含有ワクチンの接種が重要です。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[麻しん\(はしか\)について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[麻しんとは](#)